

銀漢亭日録

伊藤伊那男



- 1月31日(金)▼十一時、上野の東京国立博物館にて「旧嵯峨御所大覚寺」展を見る。天気いいので浅草方面へ散策。「駒形どぜう」、丸鍋、どぜう汁の昼食。「梅園」で田舎しるこ。アメ横で若布、鯛の丸干、ちりめんじや」など買う。二万歩近く歩いたか。
- 2月1日(土)▼午後、三田の「専売ホール」にて「銀漢本部句会 四十六名。2日(日)▼「銀漢」四月号の選句に入る。夜、節分にて鰯の生姜煮。豆撒きも。
- 3日(月)▼立春。九時、「東京目白クリニック」。五回目の化学療法。点滴三時間。帰宅して寝る。夜、鰯のたたきと新玉葱のスライスなど。
- 4日(火)▼「銀漢」のエッセイ二本書き溜める。寒波襲来と。
- 5日(水)▼朝、「109シネマス子玉川」。アニメのベルサイユのばらの封切を見る。買物をして豚モツ煮込(今迄、肉類は避けていたが作りたくなった)、鯛の兜煮、鯛茶漬の汁などを仕込む。
- 6日(木)▼午前中、加々美先生の整体。「銀漢」三月号の校正作業。昼おしるこ。マッサージが効いてたつぷり昼寝。
- 7日(金)▼数句会の選句。三月号の校正終えて編集長へ投函。午後、米糠酵素風呂。
- 8日(土)▼独活のきんびら、菜の花のぬた作る。来週の京都行きに備えて「銀漢」四月号の選句、執筆はは終える(選評は無し)。
- 9日(日)▼娘と孫の手助けを得て部屋の配置替え。本棚、ベッドなどを動かす。大掃除も。一仕事。心機一転の気分。
- 10日(月)▼終日、部屋の片付け。本棚を整理。快適な部屋となる。不思議なことに飼いの犬のバニラ(ティーカッププードル)が何回も来て寝てい

- 感じるように戻ったのが嬉しい。高倉通りなどを散策して京都駅へ。「くまざわ書店」でエッセイ本買う。「イノダゴヒ」で一休み。昼過、近江の長浜。「国友鉄砲ミュージアム」を見学。国友集落を散策。伊吹山が美しい。町へ戻って十七時、「住茂登」鴨鍋のコース。入院手術があったので二年振りの訪問。最後はうどんで締める。「ホテルY&S長浜」泊。
- 15日(土)▼快晴。琵琶湖が一望。慶雲館の長浜盆梅展を見る。盆栽の概念を超える凄さに感嘆。旧長浜駅舎を見て「翼果楼」で鯖そうめん、赤こんにゃくの田楽。米原からこだまに乗り、景色を楽しんで東京へ戻る。
- 16日(日)▼数句会の選句。確定申告の書類作成など。昼、蕎麦、バスタ。
- 17日(月)▼数句会の選句。エッセイ二本書く。午後、米糠酵素風呂。買物。今日は奈良の畑中君(野村証券同期生)、千葉の北原君(高校同期)、兵庫の清風さん(雲の峰)から小生の近況問い合わせあり。皆さんが心配して下さっている。治療のあと二日は眠い。
- 19日(水)▼皆川文弘さんから、毎年戴くチュリップの芽が出始める。夜中に起きたのでそのまま調布俳句講話の「信州の食物と俳句」書き始める。夜、長芋の付焼きなど。
- 20日(木)▼久々、発行所に寄り、「伊東温泉つづき祭り全国俳句大会」での講演依頼状入手。十八時、麴町会館にて「銀漢句会」。伊東の高橋会長宛、病気のリスクを承知下されば出席の返事を速達で出す。
- 21日(金)▼調布の俳句講話用の「信州の食物と俳句」十七品目調べ、例句を拾う。懐かしく楽しい作業。熱中する。久々、大根と人参、油揚げの粕汁作る。
- 23日(日)▼武田編集長が企画してくれた秩父猪鍋の会。前に通っていた「桂」が閉店して中断していたが、長瀬の奥に「千葉亭」を見付けてく

- く。
- 11日(火)▼桃子、杏子、孫の華子を連れて京都へ。昼、南禅寺門前の湯豆腐の「南禅寺 順正」。あと南禅寺、哲学の道を散策して銀閣寺。町へ戻って錦市場を少し案内。「京つけもの処 錦・高倉屋」で漬物買う。十七時「味どころ しん」に和田ちゃん、悦子さんと待合せ。女将が再会を喜んでくれる。六人で宴会。二十二時まで。女性五人もいると騒々しいこと！ ぐち、雲子がうまい。「京都糸屋ホテル」へ投宿。
- 12日(水)▼「高木珈琲店」にて「名物リッチモーニング」セット。北野天満宮へ行くが梅はまだ蕾。梅干を買う。上七軒の花街を歩いて紫野へ。「はしもと珈琲」で一休み。今宮神社へ。あぶり餅屋は残念ながら今日はお休み。大徳寺塔頭大慈院「泉仙」の鉄鉢料理の昼食。学生時代以来の再訪。あと清明神社、白峯神宮を案内して京都御苑。ここまでで杏は東京へ。護王神社、あと千本釈迦堂。この霊宝殿の仏像群は凄いい。「五辻の昆布」、漬物の「近為」を覗いて、十七時、居酒屋「神馬」。やはり料理は優れている。ただし予約の手違いがあり、十八時半に出て、向かいの西陣京極の「思い出」。ここは三回目か。気さくな居酒屋。
- 13日(木)▼朝食は抜く。八時過、大谷祖廟(妻の分骨先)。妻の実家の墓も詣でる。八坂の塔界隈を散策し、清水寺案内。「舌切茶屋」で甘酒。十時半、聖護院の「河道屋養老」。和田ちゃんも来て四人で養老鍋を囲む。庭に風花が舞う。娘、孫と京極スタンド」に寄る。「大丸百貨店」にも寄り、二人は東京へ。これで一人となる。十六時、ホテル入り、これより静養とする。夕食は大丸で買った寿司盛合せと茶碗蒸し。ぐっすり眠る。
- 14日(金)▼快晴。東山に上る朝日を拝して、向いの「高木珈琲店」の「名物リッチモーニング」。手術後、コーヒーが苦手であったが、この旅で旨く

- れる。猪のスペアリブ、鹿のワインナソーセージ、猪鍋、おじや。五句出し句会。私は一足先に、女将の和製ロールスロイスで駅まで送って貰う。
- 24日(月)▼「第十二回井月忌の集い」の応募句の選句作業。幹事の井蛙さんに投函。大根の柚子皮巻の甘酢漬作る(秩父行で思い出した)。
- 25日(火)▼午後、酵素風呂。「オオゼキ」で買物。数句会の選句。作句。
- 26日(水)▼小田急線秦野の「はだの 湯河原温泉 万葉の湯へ。十三時半からたつぷり湯に浸かる。十五時半、チェックイン。昼、稲庭うどん。体重五十七kgは少ない。夜、カツ丼を食べてみる。入浴。
- 27日(木)▼日の出を拝す。朝、温泉、低温サウナ。朝食しつかり食べる。十時、熱海駅に井蛙、清人さんと待合せ。唐沢静男君の車の出迎えを受ける。沼津市三津浜の長浜城跡(後北条家の海軍基地)を訪ねる。富士山が美しい。南アルプスの白嶺も見える。網代の唐沢家を訪ね、洋子夫人の料理のもてなしを受ける。十七時半、辞す。熱海駅で井蛙、清人さんと別れ、「東急ハーヴェスト倶楽部熱海伊豆山」に投宿。湯舟から熱海の夜景と星空が見事。
- 28日(金)▼風呂で朝日を拝す。ミストサウナよし。海を見ながら朝食をゆつくり。日向ぼっこ。読書。終日部屋で過す。茜雲の湯もいい。夜空の湯もいい。
- 3月1日(土)▼今朝も湯舟から日の出を拝す。ミストサウナ良し。海を見ながら朝食ゆつくり。昼、東京に戻り、そのまま「神保町ひまわり館」にて「銀漢本部句会」。あとの親睦会に久々顔を出す。
- 2日(日)▼夜中起床。留守の間に届いた郵便物の整理。数句会の選句。失念していたエッセイ一本。「銀漢」四月号の校正作業。